

令和2年度
特殊作業車
仕様書

長野市消防局

第1 総 則

- 1 この仕様書は、長野市消防局（以下「消防局」という。）が購入する特殊作業車（以下「車両」という。）を製作するにあたり必要な事項を定めるものとする。
- 2 製作に供する材料は、強靱かつ耐久性に富む精選したものを使用し、この仕様書を十分に満足すること。
- 3 道路運送車両法（昭和 26 年法律第 185 号）道路運送車両の保安基準（昭和 26 年運輸省令第 67 号）等の関係法令に適合し、緊急自動車として承認が得られること。
- 4 車両は、消防用車両の安全基準検討委員会が定める「消防用車両の安全基準について」の項目を満足し、製造工場については品質管理システム（ISO認証取得）を構築していること。
- 5 ぎ装の委託
 - (1) 受注者は、無線機その他ぎ装の一部について、その特質上、専門的技術を必要とする場合、当該専門業者に委託することができる。
 - (2) 受注者は、この仕様書を満足するように前 (1) の委託業者を監督し、その一切の責任を負うものとする。
- 6 打ち合せ
 - (1) 受注者は、契約後速やかに消防局と製作上の打ち合わせを行うこと。
 - (2) 仕様について疑義が生じた場合は、消防局と協議し、その指示に従うこと。
 - (3) この仕様書作成以降に、製品改良による性能の向上及び装置、器具等の工夫があれば、消防局と協議のうえ、積極的に採用すること。
 - (4) 構造上の理由で、やむを得ず仕様の変更を必要とする場合は、消防局と協議のうえ決定し、その指示に従うこと。
 - (5) 上記 (3) 及び (4) の変更に係る事項については、本仕様書の追加分として取り扱うものであること。

第2 契約時必要事項

- 1 受注者は、契約後速やかにシャーシ業者、無線等関連業者及び消防局と打合せを行うものとする。
- 2 図書等
 - (1) 承認図書

ア 製作工程表	2部
イ 車体ぎ装5面図、電気配線図、キャブ内配置図	各2部
ウ 諸元明細書（シャーシ・ぎ装）	
 - (2) 完成車の納入時提出

ア 各種資機材取扱い説明書	各2部
イ 積載資機材配置図	2部
ウ 電気関係配線図（関係詳細図）	2部

エ	キャブ内機器配置図（無線・AVM含む）	2部
オ	工程写真	各2部
	* 製作中各工程（シャーシ、組立中、塗装後）	
	* 試験実施工程（車両転覆角度試験、車両重量実測試験）	
カ	車両転覆角度実測証明書	2部
キ	車両重量実測証明書	
ク	価格明細書	2部
ケ	その他消防局が指示した図書	2部

第3 仕様

1 シャーシ主要諸元

No.	項目	諸元
1	形状	3トン級ワイドシングルキャブ消防専用シャーシ
2	駆動方式	4輪駆動
3	乗車定員	5名
4	全長	約7,000mm以下
5	全幅	約2,300mm以下
6	全高	約3,100mm以下
7	車両総重量	7,500kg未満
8	ホイールベース	4,000mm以下
9	最小回転半径	約7.0m
10	エンジン出力	100kw（150PS）以上
11	エンジン種類	水冷4サイクル直列4シリンダディーゼルターボ付
12	燃料・タンク容量	軽油70リットル以上
13	オルタネーター	容量24V-80A以上
14	バッテリー容量	寒冷地仕様100Ah以上
15	エアコン	運転席・後部座席ともに冷暖房エアコン
16	フロントグリル	メッキ
17	キーレスエントリー	予備キー5本付（キーレス3本・スペア2本）
18	前照灯	LEDヘッドランプ
19	後退警報ブザー	解除スイッチ付き（ぎ装アンプ音声式活用可とする）
20	ドアロック方式	集中ドアロック式
21	サイドミラー	電動格納式、140mm以上（助手席ワイドビューミラー付）
22	スペアタイヤ	1本
23	キャブ床面	高床タイプ
24	安全装置	ABS
25	各種法規制	最新排出ガス規制及び騒音規制適合車とすること。
26	ナビゲーション・CDプレイヤー	ナビゲーション（全国地図）地デジ付、AM/FMラジオ付CD/RW再生（ダッシュパネル設置）バックカメラ連動
27	車両後方通話装置	運転者と誘導員間の通話装置
28	パワーウインド	運転席・助手席
29	ETC車載装置取付け	セットアップ含む
30	ドライブレコーダー	富士ソフト(株)製 B8HD（セットアップ及び付属品等含む）
31	その他	寒冷地仕様とする。（冬用ワイパーブレード等含む。）

第4 艀装

1 キャブ艀装

- (1) キャブ上部は、軽量かつ十分な強度を有し、軽量性、耐久性、耐熱性に優れた素材のCFRP製を用い、赤色警光灯一体型ハイルーフとすること。なお、転覆角度、車両重量を考慮し、軽量化と耐久性の優れた構造とすること。
- (2) キャブ内は2名乗車用とし、センター座席に替えて金属製のセンターコンソールボックスを設け、容易にエンジン部の点検のできる状態を保ちつつ、車両端末装置のモニター、無線機のハンドセット及び各装置の電装品スイッチ（10連スイッチ）を取り付け、操作が容易に行えるものとする。
- (3) 室内は可能な限りの収納ボックスと可動式フックを取り付ける（収納ボックス位置については別途協議とする）
- (4) 呼吸器取付装置（クイックホルダー）を助手席に1式埋め込む構造とすること。
- (5) センタークラスターに、消防無線機、及びサイレンアンプ、各種スイッチ類を設けること。
- (6) ダッシュパネル付近の運転者が、操作しやすい位置にバッテリーメインスイッチを設けること。なお、バッテリーメインスイッチを「切」状態でも集中ドアロックを使用できるようにすること。
- (7) 前部座席の上方空間を計器照明灯付きオーバーヘッドコンソールとし、各種スイッチ類及びヒューズボックスを指定した配置で整然と取り付けること。
- (8) ヒューズボックス及び各操作スイッチは、名称及び容量を明記した銘板を取り付けること。
- (9) キャブ内天井に、LED室内灯を取り付けるとともに、夜間の運転に支障が生じないように遮へい措置をすること。（ドア開放連動点灯及び単独スイッチで点灯・消灯すること。）
- (10) キャブ内天井部分は、外部無線用配線その他配線を通す配管（雑音防止及び配線保護配管）を配置し、防音、断熱処理をしたうえ内張りを取り付けること。
- (11) キャブ左側面に訓練旗立て金具を設置すること。
- (12) フロントバンパー上部に、キャブ前面整備時の足場となるアルミ縞板等による滑り止めを取り付けること。また、フロントガラス上部に、握りフックを2ヶ所取り付けること。
- (13) 車内にエンジン及びトランスミッション等の車両整備に必要な開口部を設けておくこと。
- (14) 車両前部には、バウシャックル2個取り付けること。（強度明記をすること）
- (15) フォグランプをフロントバンパー等に取り付けること。
- (16) 左右サイドミラーステーは、障害物に接触した時、損傷しない回転式構造とすること。
- (17) 車両後退時、運転席と誘導員間の通話装置を設けること。

2 車体艀装

- (1) キャブと荷台室内（以下「資機材庫」という。）を一体型にし、防水性及び美観を考慮した仕上げとすること。
- (2) ボディーに金属以外の素材を用いる部分は、歪み、亀裂、裂け等が発生しないよう十分な強度を有すること。
- (3) 外板は、サンドイッチパネルを使用し、軽量化に努め雨水・雪などの浸水を防止するため開口部にはシール材、パッキン材を用いて防水処理を施すこと。
- (4) キャブと資機材庫間に会話可能な開口部を設け、後部照明が運転の支障となることのないようカーテン等で遮光するよう措置すること。
- (5) 車両バッテリーを用いて、1000W程度のインバーターを車内に取り付け、100V出力コンセントをキャビン内に1個、資機材庫内に1個、合計2個設けること（取付位置は別

途協議する)

- (6) 燃料タンクは左側キャブ後部とし、容易に給油できる位置とする。(燃料の種類を明記)
- (7) キャブより後方の車体は軽量化と十分な強度を有し、車両重量軽減及びバランス等を考慮した構造とすること。
- (8) 泥除けを全輪に設け、左右後輪付近にLED路肩灯(スモール連動)を設けること。

3 資機材庫艙装

(1) 上部

- ア 外板を約50mm立ち上げ1段手すり枠を設け、上部面はフルフラットとしアルミ縞板張りとする。
- イ ゴムボートを積載、固定が出来る構造とし、後端にローラーを取り付けゴムボートの積み下ろしが容易に出来る構造とすること。なお、詳細等については、別途協議すること。
- ウ キャブ後部のサイドの立ち上がり、上部立ち上りを合せるものとし、排水が容易に出来る構造とする。
- エ ボート固定用フックを8箇所取り付けすること。
- オ 夜間活動用に、LED作業灯を取り付けること。(オン・オフスイッチ付き)

(2) 側面

- ア 側面に上部へ安全に昇り降り出来るように昇降装置を取り付け、夜間でも昇り降り出来るように照明を取り付けること。
- イ 左側側面に、扉を設け、隊員の乗り降りが容易に出来る構造とすること。なお、出入口周囲は樹脂等で覆いボディーの保護処置を施すこと。
- ウ 乗降口の扉は、車両検査に適合する方式とし、採光用のガラス窓を用いる部分にはスモークフィルムを設置すること。
- エ 乗降ステップは二段とし、開口により室内灯及び、足元灯が点灯するようにし、ドア開放で点灯するほか、独立して消灯の入切りができるものとする。
- オ 採光上有効な窓を設け、水難救助の着替えに際し、外部から見えることのないようカーテン等の目隠し処置をすること。窓の位置、寸法等は契約後に協議する。
- カ 左右上部に、車両周囲を照らせるLED作業灯を取り付けること。(オン・オフスイッチ付き)
- キ 左右上部に、電子サイレンと連動するLED赤色警光灯を6個(片側3個)取り付けすること。(オン・オフスイッチ付き)
- ク 左右下部に、LED車幅灯を各3個(計6個)取り付けすること。
- ケ 左右上部に標識灯を取り付けること。(取付位置は別途協議)
- コ 下部に外部収納庫を可能な限り取り付けすること。(レイアウトは、別途協議)
- サ 外部収納庫は収納物の重量に対して十分な強度を確保し、開閉ロック機能を設け、開放時に連動する庫内灯を設けること。(取付位置・大きさは別途協議)
- シ 外部収納庫は扉兼用のステップを設け、各ステップは完全チェーンレス式ステップとし、ステップ面はアルミ縞板張りとする。また、可動部付近の表面は腐食防止処理を施すこと。また、活動中の危険を防止するため、扉の角は曲形状とすること
- ス 外部収納庫内部は、扉部分を含め金属製収納物による損傷を防止するための保護措置をするとともに、資機材出し入れの摩擦等の利便性を考慮し、プラスチック等の樹脂製の保護板を敷くこと。
- セ 収納する資機材は、アルミケースまたは、プラスチックコンテナに収納し、脱着が容易

- にでき、かつ確実に固定できるものとする。また、必要に応じて引出装置を設けるものとする。なお、引き出し装置部分には、ロック機構等を設けること。
- ソ 収容物固定用に、必要により適宜仕切り板又は固定バンド等を設けること。
- タ 洗浄後の水抜き用の穴を設け、パイプ等で車両下方に排水するよう措置すること。
- チ 特に指定する場合を除き、すべての標準積載品及び附属品を固定して収納できるようにすること。

(3) 後部

- ア リア開口部は2分割扉全面開放とし、外側に扉を固定するロック機能を設けること。また、ロックハンドル、ハンドル、ドアヒンジ、その他扉に使用する材質はステンレス製を使用すること。
- イ リアゲートは資機材庫の最後部に取り付け、その他の内容は次の内容とする。
 - (7) リアゲートの開閉は電動油圧式とすること。なお、開放時にリアゲートの床面は転倒防止を考慮した縞鋼板を使用し安全に考慮したものとする。
 - (4) リアゲート床面には、キャスターストッパー及びサイドストッパーを設けること。
 - (9) リアゲート主電源スイッチはキャブ内に設け、操作スイッチは後部左側側面と資機材庫内に昇降用リモコンスイッチをそれぞれ設けること。
 - (5) リアゲートの地面との接触部分には保護枠を取り付け、全面塗装を施すこと。
- ウ 上部に、LED作業灯（保護枠付き）を2個、LED赤色警光灯（保護枠付き）を2個取り付けること。（オン・オフスイッチ付き）
- エ ブレーキランプ、バックランプはLED灯を使用すること。
- オ 車両後部に牽引用フックを設けること。（強度明記、外れ防止機能付き）

(4) 内部

- ア キャブに近い位置に、隊員用跳ね上げ式座席を3脚取り付け、シートベルトを取り付けるとともに、座席上部には収納ボックス等を取り付けること。（取付位置は別途協議）
- イ 天井面に強度に優れたステンレス製ハンガーパイプ（吊るし棒）を可能な限り取り付けること。
- ウ かご台車の動きを妨げないよう床面はフルフラットとし、アルミ縞板張りとすること。
- エ 床材を高さ約20cm壁面に立ち上げ、水で洗浄できるような構造とすること。また、排水が容易にできる構造を施すこと。
- オ ラッシングベルトレールを左右に上下2箇所取り付けること。（レール位置については別途協議）
- カ LEDカーゴランプを5箇所以上設置し、照明用のスイッチ主電源はキャビン内に、操作スイッチを資機材庫内に設け、破損防止の保護カバーを取り付けること。
- キ カーテンレールを取り付け内部の遮蔽ができる構造とする。（取付位置は別途協議）
- ク 後部隊員近傍に空気呼吸器を固定するクイックホルダー2基を取り付けるとともに、指定する場所にハンガーフックを設けること。
- ケ 後部座席近傍に、地図その他必要な資機材を収納できるボックス等を設けること。尚、材質、形状、設置位置、寸法等については、別途協議する。
- コ 有効室内高は、1,900ミリメートル以上とし（機器設置部分を除く）、可能な限り高くするとともに天井は内張りを施すこと。
- サ 隊員座席と荷室部分の境界に手すり等を設け、乗員の安全を確保するとともに、ドライスーツ等のハンガーをかけられる構造とすること。なお、隊員座席と荷室部分は行き来出

来る構造とする。

(5) その他

「第6 救助資機材等」に記載の資機材及び消防局の指定する資機材（船外機等）を、ふた付きコンテナに収納し、用途ごとにかご台車に積載するものとする。なお、コンテナに収納できない資機材にあっては、かご台車等に固定措置を施すこと。詳細は、契約後別途協議とする。

4 電気配線

- (1) 系統別に色分けすること。
- (2) 配線が貫通する車体部分には、ゴムソケットを使用し、配線には保護措置（フレキシブルチューブ等）を施すこと。
- (3) ヒューズボックスは専用とし、系統別名称及び容量を記入すること。
- (4) 各端子にはカバーを取付け、回路を明示すること。

5 バッテリーボックス

- (1) バッテリーボックスは、管理に容易な位置に設け、必要な安全措置を図ること。
- (2) バッテリー2個は、点検整備及び電気配線可動のために、余裕をもって収納できること。
- (3) バッテリー架台を設ける場合は、ローラー等を使用して点検時等に円滑に引出せる構造とし、固定及び解除が容易にできる構造とすること。
- (4) 架台を設けた場合のバッテリー接続配線は、バッテリーを引出した状態で余裕のある長さとする。
- (5) バッテリーボックス内の端子周囲は、工具接触によるショートを防止するためゴムシート等で絶縁被覆すること。

6 電装機器取り付け関係

- (1) 内外切換えスイッチ付きの外部無線用防水スピーカーを設置すること。また、音量調節機能を有すること。
- (2) 無線機及び車両端末装置を旧車両から載せ替えるために消防局及び車両端末取り付け業者と打合せのうえ必要な措置をすること。なお、無線機及び車両端末載せ替えは、消防局の別発注とし、受注者の負担に含まない。
- (3) 雑音防止の必要な機器については、全て雑音防止装置を設けること。

7 アンプ、サイレン及び赤色警光灯

- (1) 出力50ワット以上の警鐘音付サイレンアンプを、センタークラスターに取り付けること。
- (2) モーターサイレン内蔵型のLED散光式赤色警光灯を、十分な補強をしたキャブ上に、当該キャブから側方に突出することがないように設けること。
- (3) 散光式警光灯（型式：大阪サイレン製MRA-B310）はLED式とし、キャブと一体埋込型をキャブ上部左右及び前方中央に設けること。
- (4) 電子サイレン用スピーカー及びモーターサイレンをキャブ上部前方中央に埋込一体型にて設けること。また、電子サイレン用スピーカーは、前方音量を確保しながら、車内側への音量を大幅に削減するアクティブ制御方式を採用すること。（型式：大阪サイレンMRA-SP-30R）
- (5) モーターサイレンのスイッチは、容量を十分に満たすリレーを介して、隊長席にカバー付

足踏みペダル式を設けるとともに、手押しボタン式スイッチを設けること。

- (6) 後部座席に外部広報用のマイクを増設すること。
- (7) 前方フロントパネル左右にLED赤色警光灯（型式：大阪サイレンLFA-200）を各1式取付けること。点滅は、赤色警光灯と連動すること。
- (8) 上部にLED作業灯（形式：大阪サイレンLIA-W（保護枠付き））を設けること。点灯スイッチの取付け位置は別途協議とする。
- (9) 側面の左右上部に、LED赤色警光灯（形式：大阪サイレンLFA-300）を片側2個取付けること。点滅は、赤色警光灯と連動すること。
- (10) 側面の左右上部に、LED作業灯（型式：MYSW-L1440H-W）を各1個、側面LED赤色警光灯作業灯一体（型式：大阪サイレンLFIA-300）を各1個取付けること。
- (11) 後部の左右上部にLED赤色警光灯（型式：大阪サイレンLFA-200（保護枠付き））を各1個取付けること。点滅は、赤色警光灯と連動することし、単独でOFFが可能なこととする。
- (12) 後部の左右上部にLED作業灯（型式：大阪サイレンLIA-200（保護枠付き））を各1個取付けること。点灯スイッチの取付け位置は別途協議とする。
- (13) 助手席及び後部座席に、LEDマップランプを設けること。
- (14) 運転席から車両後端が容易に確認できるよう、スモールランプ連動の黄色LED確認灯を車両後端左右に取付けること。

8 その他

- (1) リアタイヤフェンダーとタイヤとの空間は、トリプルチェーン装着時に両腕が容易に入るようスペースを確保すること
- (2) 車両最後部は、登坂路に差し掛かったときに接触しないよう有効なデパーチャーアングルを確保し、車両後端を斜めに切り上げること。

第5 取り付け品等

1 取付品

品名	数量	形式及び規格
アワーメーター	1	
サイドバイザー	2	ステンレス製
オイルパンヒーター	1	
マッドガード	4	
ナンバープレート枠	2	
フォグランプ	2	LED
ナビゲーション、ラジオ	1	ナビゲーション（全国地図）地デジ付、AM・FM 広報用CD/RW再生機 バックカメラ連動
LEDマップランプ	2	隊長席、後部座席
LED散光式赤色警光灯	1	ボディー一体型
電子サイレンアンプ	1	大阪サイレン（TSK-D152）専用マイク（MC-D1L）付 後部隊員席マイクを増設
モーターサイレン	1	警光灯内蔵型防雪カバー付
前部赤色LED灯（フロントパネル左右）	2	大阪サイレンLFA-200
上部LED作業灯	2	大阪サイレンLIA-W（保護枠付き）
標識灯	2	両サイドに1箇所（ボディーと一体型可）
側面LED赤色警光灯	4	大阪サイレンLFA-300

側面LED赤色警光灯作業灯一体	2	大阪サイレンLFIA-300
側面LED作業灯	2	MYSW-L1440H-W
後部LED赤色警光灯	2	大阪サイレンLFA-200 (保護枠付き)
後部LED作業灯	2	大阪サイレンLIA-200 (保護枠付き)
室内LED照明灯	6	キャブ1・資機材庫5
かご台車 (中段棚付き)	10	外寸：W1,100×D800×h1,700 以内
資器材収納ふた付きコンテナ	36	ネーム入り (別途協議)
ラッシングベルト (ラチェット式)	10	ベルト幅 50mm・長さ 4 m (かご台車固定用)
ラッシングベルト (ラチェット式)	5	ベルト幅 25mm・長さ 4 m (ボート固定用)
消防章	1	車両フロント
空気呼吸器取り付け装置	3	クイックホルダー (助手席1、資機材庫2)
ボートカバー	1式	

2 標準積載・附属品

品名	数量	備考
スタッドレスタイヤ	7	スペヤタイヤ(ホイール付)
タイヤチェーン	2	トリプル、シングル各1組
工具箱	1	車両用工具付
愛車セット	1	
非常信号灯	1	LED合図灯(LE-60 56cm)
フロアマット	1式	前席、後席
緊急停止板	1	
予備ヒューズ	2	2セット分
補修塗料	1	ボディ色
車輪止め	2	ゴム製 車両取付け (バンド付)
消火器	1	自動車用 (20型)
牽引スリング	2	牽引用テープスリングS級シャックル3t用4個付
空気呼吸器 29.4Mpa対応	5式	シグマ A1-12
空気ボンベ	5本	カーボンFRPボンベ 5本付 (530C-III) 「F-389」と打刻と同等の方法で表示、ヘルカバー付
ホースバック	2個	65mm消防ホース3本・二又分岐金具及び管そうを収納可能
トランジスタメガホン	1式	ノボル製TS-533、携行ホルダーNZ-303付き 【同等品可能】
充電式ライト	1	ファイアバルカンLED 【同等品可能】
工具及び工具箱 (JIS規格品)	1式	カネレンセット、コンビネーションレンセット、両口スパナセット、ソケット レンセット、+・ードライバー3種類、ペンチ、プライヤ、ロキ ングプライヤ、絶縁ハンドホルトカッター、5本組み柄付やすり、六角棒 レンセット (ボールポイント付)、ラジオハン
コンパクト伸縮式コーン	2個	使用時 320mm×700mm×35mm
予備灯火類	1式	車両関係1台分
ステップチョーク	2組	事故車両等安定化器具
カラビナ	各式	小10個、大5個 (各ステンレス)

第6 救助用資機材等

- 1 形式及び規格の欄に「同等品可能」の表記がある資機材については、同等品以上の性能のものに限り認めるものとする。同等品とする場合は、各資機材ごとに消防局と協議すること。
- 2 資機材の積載方法、常時積載するもの、載せ替え積載するものについては、契約後別途協議とする。
- 3 一般救助資機材

品名	数量	形式及び規格
油圧スプレッダー	1	ホルマトロ SP5260
油圧カッター	1	ホルマトロ CU5050
油圧ラムシリンダー	1	ホルマトロ TR4350C
油圧ポンプユニット他一式	1式	ホルマトロ SR20PC2 コアホース 15m、10m、5m各2本 ホースリールHR5420
電動マルチツール	1	ウェーバー SPS360 MK2 E-FORCE3
エンジンカッター	1式	ハスクバーナー K970 替刃 パンサーΦ350×2枚
チェーンソー (レスキューソー)	1	スチール MS461-R
可搬ウインチ+展張計	2式	チルホール TU-16 CMCインフォサー (デジタル張力計) 250
マット型空気ジャッキ	1式	ホルマトロ製リフトバック HLB6、HLB11、HLB21、HLB38 : 各1枚 箱型コントローラー×1、レギュレーター : 29.4MPa 対応品×1、開閉ホース×2本、エアホース : ×2本
コードレス鉄筋カッター (電動)	2	I K K DCC-2036BLH、コード SR-DCC1618-0266
バスケットストレッチャー	1	ファーノ タイタンTi (分離型)
単梯子 (かぎ付きはしご)	1	関東梯子 KHFL-C T31
投光器	1式	FoxFury NOMAD360
発動式発電機 (900W)	1	ホンダ EU9i 【同等品可能】
送排風機	1	大西電気 ポータブルファン 防爆性能Ⅱ BT5 BMC コードリール 【同等品可能】
レスキューマックス (救命索発射装置)	1式	銃砲刀剣類所持等取締法及び火薬類取締法非該当のものとする。
リットラインキット	1	CMC リットラインキット 150 長さ 45メートル

4 水難救助資機材

品名	数量	形式及び規格
オクトパスレギュレーター一式 (ゲージ、ホース含む)	4式	アクアラング レジェンド MBS レギュレーター [No.148002] (寒冷地対応) プレシス 3 ゲージ [No.614121]

		プレシスゲージ用高圧ホース [No.911134] ダストキャップ [No.124555] ホースプロテクター [No.124561]
水中ナイフ	4	アクアラング スクイーズロックナイフ YL [No.475370]
BCジャケット	2	アクアラング アクション M [No.313402] ×1、ML [No.313403] ×1
潜水用ウエイト	1式	アクアラング 鉛1kg×8 [No.603000] 2kg×6 [No.603100] ※2式分(1式10kg)
ウエイト用ベルト	2	アクアラング ステンレスバックル付きベルト 1.25m YL [No.602110]
水中時計	3	アクアラング i100 [No.838112]
ウェットスーツ	4	TUSA レスキューウエットスーツ RS119W1 [5SJE] 300股掛けジャケット 400ロングジョン
ウェットスーツブーツ	4	アクアラング エルゴブーツ 25 [No.599005]、26 [No.599006] ×2、27 [No.599007]
水難救助用グローブ	4	アクアラング マリングローブ M [No.588200] ×2、L [No.588300] ×2
水中ライト	4	アクアラング FOCUS/UW1050 LED LIGHT
水中マスク (ロングストラップ式)	4	アクアラング ニーナマスク OG/BK [No.225045]
シュノーケル	4	アクアラング アキロンパージスノーケル OG [No.190330] スノーケルホルダー [No.778770]
フィン	4	アクアラング マイスターPROフィン OG M [No.340326]
水中ヘルメット	4	アクアラング 潜水用ヘルメット (フリーサイズ) ハーフカットタイプ 【No.835050】
アクアギアバック	8	アクアラング アクアメッシュバッグ BL [No.658820] ×4、OG [No.658880] ×4
A旗+浮標	1	アルファーフラッグ&フロート
浮標 (潜行索用)	2	玉ブイ ウサギ耳タイプ プラスチックフロート 360φ
潜水用ボンベ 19.4MPa	2	アクアラング 14L (19.6MPa) メタリコンタンク (K2バルブ付き) [No.013230]
ドライスーツ用ハンガー	4	アクアラング

		フレキシブルハンガー [No.778746]
アクアリフター (50 キロ用)	1	アクアラング アクアリフター 50kg用 [No.891100]
小型船舶用信号紅炎	1	タイプS T-2
救命浮環	1	PC-25
レスキューネット	1	ヘリテイジ社
水中引揚探索棒	1	レスキュースティック
水中ストロボライト	4	ファーノ 防水仕様 ACR C-ストロボ

5 山岳救助資機材

品 名	数量	形式及び規格
バーティカルストレッチャー	1	CMC #726600
スタティックロープ	3	CMC スタティックプロNFPA 11mm 50m×2 (レッド、ブルー) 100m×1 (ホワイト)
プルージックコード	20	CMC 7mmプルージックコード 140cmレッド×10 170cmイエロー×10
制動器具 (クラッチ)	2	CMC CLUTCH (クラッチ) NFPA G 11mm用
プーリー	5	CMC レスキュープーリー NFPA G (300301)
スイベル	2	CMC レスキュースイベル NFPA G (300721)
アンカープレート	2	CMC マイクロアンカープレート NFPA G (300623)
カラビナ (アルミ)	20	CMC プロシリーズ アルミキーロックカラビナ (300233)
ロープバッグ	3	CMC レスキュージャパンロープバッグ小サイズ (ブルー) ×2 中サイズ (グレー) ×1
ギアバッグ	1	CMC パリセイドバック (440633) レッド
エッジパッド	2	CMC エッジパッド ラージ (294018)
オープンスリング	8	ダイニーマ オープンスリング 60cm×4 120cm×4
ウェビングテープ	4	1セット: イエロー、ブルー、オレンジ (200107-1、200102-1、200101-1)
パーソナルアンカーシステム	6	アルティメイトデイズチェーン

6 高度救助資機材

品 名	数量	形式及び規格
熱画像直視装置	1	FLIR K65 【同等品可能】
地震警報器	1	フレックルライト雷神 【同等品可能】

第7 塗装等

1 外部塗装

- (1) 車体の塗装は、鋼板部の完全な錆落としの上、各部完全な防錆加工を施し、組み立てた後に再度防錆処置を施し、ウレタン塗装、アクリル塗装の艶出しを行うこと。

- (2) 指定する以外の車体の塗装は、フロントバンパーを含め赤色（法定色）とすること。
- (3) 車両下部は、塩化カルシウムによる塩害を防止するための防錆塗装を施すこと。
- (4) キャビン内部は、シャシメーカー標準色とする。
- (5) ステンレス板、メッキ加工以外は、全て塗装すること。
- (6) 資機材収納ボックス内部は、シルバー色で塗装すること。
- (7) ステップ側面は、黄色の蛍光色で塗装すること。
- (8) その他、特に指定のない部分は、原則として、黒色の塗装をすること。

2 次に掲げる部分には、良質のメッキを施すこと。

- (1) レバー、ハンドル類
- (2) 取っ手及び欄、止金具等
- (3) 各種保護枠、手摺り
- (4) その他、別途指示するもの

3 次のとおり文字を記入すること。

- (1) キャブ両面に左書き、白色、丸ゴシック体で「長野市消防局」と130ミリメートル四方の文字を記入すること。
- (2) 車両フロント右パネル（運転席側）に白色、丸ゴシック体で「特殊」と90ミリメートル四方の文字を記入すること。
- (3) 資機材庫側面には、「特殊作業車」及び「*NAGANO F. D.*」を白色で塗装すること。また、指定する図柄等をカッティングシール等で記入すること。
- (4) 後部に白色、丸ゴシック体で「長野市消防局」「特殊作業車」及び「長野県」と130ミリメートル四方の文字を記入すること。
- (5) 上記(1)～(3)のデザインは別途協議すること。
- (6) 標識灯に、「中央署」と記入すること。
- (7) 資機材に、カッティングシール等で「長野市消防局 高度救助隊」と貼付又は記入すること。
- (8) 車両寸法表示板を作成し、ダッシュボードに取り付けること。
- (9) 各種レバー、スイッチ等には、操作を表示するプレート等を取り付けること。
- (10) 記入文字の名称等詳細については、別途打合せとすること。

4 次のとおり対空表示を記入すること。

- (1) 資機材庫上部アルミ縞板上に、「長野中R」と丸ゴシック体で耐久性のあるオレンジ反射材で記入すること。位置及び大きさは別途協議するものとし、詳細については、中間検査時に指示するものとする。
- (2) 文字の大きさは、一辺が50cm以上の正方形で表示できる最大限の大きさとする。
- (3) 文字の太さは、概ね正方形一辺の1/10、アルファベット1/8で体裁のよい太さとし、文字の間隔は、上下を概ね15cm以上あけることを原則とする。

5 文字及び図柄等については、可能な範囲で再帰性に富んだ反射材を使用すること。

- (1) 車両後部の見える位置に赤色再帰性反射材を貼付すること。
- (2) その他再帰性反射材を貼付できる部分については、積極的に使用することとし、詳細は消防局と協議するものとする。

第8 検査

- 1 検査は、中間検査及び完成検査を実施するものとし、各検査を受けようとするときは、30日前までに消防局に連絡するものとし、不備指摘事項は、再検査を行う。
- 2 検査の際に、隠ぺいされている部分については、ぎ装工程写真で確認する。
- 3 中間検査は、工程に基づき実施する。
- 4 完成検査は、本仕様書に基づき、次の検査を実施する。
 - (1) シャーシ及びぎ装の検査
 - (2) 付属品の員数及び機能検査
 - (3) 走行試験
 - (4) その他
- 5 検収は、本仕様書及び承認図に基づき総合的に実施する。
- 6 製作にあたって、技術変更を要する場合及び疑義のある場合は、随時、消防局と協議し、承認を得た場合のみ、仕様を変更することができる。

第9 納期

令和3年3月31日までとし、納入場所は消防局警防課とする。

但し、新型コロナウイルスの影響により納期までの納入が困難と判断される場合は、事前に納期について消防局と協議することとする。

第10 保証

- 1 車両本体の保証期間は、納入日から起算して1年間とする。
- 2 新規納入した車両積載品のうち、特に指定のないものの保証期間は、納入日から起算して1年間とする。
- 3 保障期間内に生じた故障、塗装・メッキ類等のごく一般的な亀裂、剥離及びサビ等を含む不具合については、受注者の負担で速やかに修理すること。また、設計又は材質の不備に起因すると認められる不具合箇所については、前(1)及び(2)に関わらず無償で改修すること。

第11 その他

- 1 入札前の消防局との協議については、契約課を通じて実施すること。
- 2 自賠償保険料、重量税、リサイクル預託金、緊急自動車の指定を含む新規登録諸費用は、受注者の負担とする。
- 3 保証期間は、特に定めのある場合を除き、納入後12ヶ月間とし、1ヶ月点検又は1,000キロ点検に伴うオイル交換等の費用を含むものとする。
- 4 消防局の指定する消防車両及び積載品等を廃車すること。なお、その際、「長野市消防局」等のネームを完全に消去し、廃車、引き取り及び永久抹消手続きを行い、「登録事項等証明書」を提出すること。なお、処分手続き等にかかわる費用は、受注者の負担とする。
- 5 車両納入後、消防局の指示により、機器取扱い説明指導を実施すること。
- 6 本仕様書に記載がない場合であっても、メーカーが公表した標準ぎ装は、全て施すこと。
- 7 車両の製作及び移動にあたっては、事故防止に万全の注意を払うこととし、万一、事故が発生した場合は、直ちに消防局に連絡し、その指示に従うこと。